# 総代会に関する事項

## 総代会の仕組み

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数が多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動やホームページ等を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでいます。

## 総代候補者選考基準

### (1)資格要件

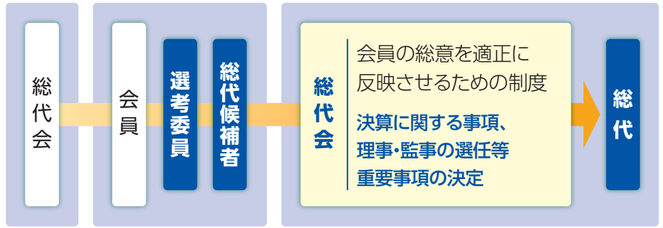
当金庫の会員であること

### (2)適格要件

①地域における信任が厚く、総代として相応しい人であること
②金庫の理念をよく理解し、金庫との取引や経営内容も良好であること
③地域の情報に通じ、金庫の業務運営に協力的であること
④良識を持って正しい判断のできる人であること
⑤就任時の満年齢が80歳を超えない者であること
⑥その他総代選考委員が適格と認めた者

**総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です**

①総代会の議決に基づき理事長が選考委員を委嘱し、選考委員の氏名を店頭に掲示
②選考基準に基づき総代候補者を選考
③理事長は、総代候補者の氏名を店頭に掲示し、所定の手続きを経て、会員の代表として総代を委嘱



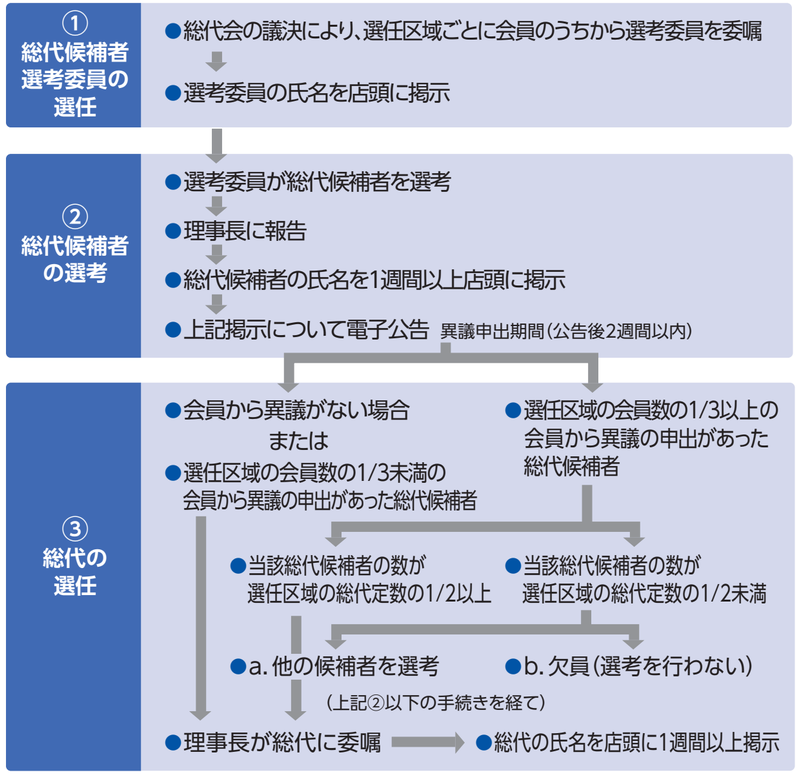

## 総代とその選任方法

### (1)総代の任期・定数

①総代の任期は3年です。
②総代の定数は定款に定める範囲内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められています。
なお、2024年6月1日現在の総代数は、150人です。

### (2)総代の選任方法

**総代が選任されるまでの手続きについて**



# 総代会に関する事項

## 第105期通常総代会の決議事項

第105期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれの原案の通り了承されました。

### (1)決議承認事項

第1号議案　剰余金処分案承認の件
第2号議案　定款第15条に基づく出資会員除名の件
第3号議案　定款一部変更の件
第4号議案　理事3名選任の件
第5号議案　監事1名選任の件
第6号議案　退任理事および退任監事に対する退任慰労金贈呈の件

### (2)報告事項

①第105期業務報告、貸借対照表および損益計算書
②2024年度事業の方針

## 総代の氏名

(2024年6月1日現在)

| 選任区 | 選任区域 | 定員 | 氏名 |
|---|---|---|---|
| 第1区 | 港区、大正区、浪速区、天王寺区、東成区、生野区 | 16 | 生田　啓司①　池上　利治④　池島　照幸①　金澤　規勝②　桒野　昇一④<br>真田　敦史①　澤井　勝⑤　田中　俊次③　西上　雅章⑤　福家　通和⑤<br>藤本　幸男②　前田　芳嗣①　松田　浅三②　宮前　博一①　山川　正二②<br>和田　拓也② |
| 第2区 | 住之江区、西成区、阿倍野区、東住吉区、住吉区 | 13 | 池元　真吾③　井東　博子②　氏田　耕吉⑤　鴻原　森蔵⑤　後藤　清③<br>田村　毅⑤　西村源一郎②　橋詰　友二⑤　馬場　雅樹④　浜野　廣美④<br>東辻　実③　松田　敦嗣⑧　矢野　勇治① |
| 第3区 | 西区、中央区、都島区、旭区、城東区、鶴見区、守口市 | 18 | 伊藤　龍二⑤　桶谷　正廣⑧　北野　吉治④　庄司　眞之⑤　田中　敏明①<br>田中　富之④　谷本　哲哉⑤　直居美恵子①　中井　誠治①　長尾　幸祐⑤<br>中田　吉彦①　中村　信男⑧　林　壽彦①　林　陽二郎⑧　福井　昌勝⑥<br>松井侯乃輔④　宮地　秀和③　村上　裕宣④ |
| 第4区 | 平野区、松原市、東大阪市、八尾市、藤井寺市、柏原市、太子町、河南町 | 18 | 奥山　泰彦②　川島　一志①　清水　宏祐⑧　白土　滋⑧　竹内　成介⑧<br>田中　達雄⑥　坪内　敏剛③　寺尾　勇⑤　中西　英二⑤　中村　喜英③<br>八野　博之①　藤井　巡造②　藤田　賢一①　丸橋　憲士②　南野　隆彦①<br>宮副　洋②　柳原　彰①　山本　良継⑤ |
| 第5区 | 西淀川区、此花区、淀川区、福島区、北区、東淀川区、伊丹市、尼崎市、池田市、箕面市、豊中市、吹田市、茨木市、摂津市、高槻市、門真市、寝屋川市、大東市、枚方市、交野市、四條畷市、豊能町、能勢町、島本町 | 22 | 石瀬　浩三⑧　岩祖豊太郎⑧　岩本　哲郎①　宇野　泰明①　大下昇三郎⑤<br>片岡　洋一④　片桐　敬雄⑤　木下　順⑤　熊本　博⑧　小泉めぐみ③<br>佐々木正文①　高梨　憲春③　田村　耕作⑤　中村　勝⑧　原　千馬②<br>原田　豊⑧　福本　桂太③　三浦　和良③　村田　治彦⑤　安本　亮一③<br>山本　素之①　吉岡　友行③ |
| 第6区 | 堺市、千早赤阪村 | 25 | 今徳　信夫⑤　岩田　修一③　梅川　昌彦③　奥野　光計⑤　金子　種明③<br>川嶋　淳史③　河村　厚男⑦　北野　直子①　北村　譲⑧　木村　浩嗣③<br>工藤　俊郎①　國井　豊⑦　蔵田　博④　田島　哲康④　田中　政義④<br>栃尾　憲二①　中谷　好和⑦　成瀬　清伸③　西田　泰庸③　野口　一⑧<br>花澤　良隆④　日野　雅生④　三上　尚嘉⑦　溝端　惠一⑦　吉田　勘哉⑤ |
| 第7区 | 高石市、泉大津市、和泉市、羽曳野市、大阪狭山市、富田林市、河内長野市、忠岡町、岸和田市 | 24 | 飯坂　清②　井谷　公蔵⑤　今井　剛志②　奥　忠道⑦　奥　藤喜雄⑦<br>奥　吉治⑦　片渕　昭人⑦　片山　英和⑦　亀井　一②　河　宗啓②<br>川上　隆④　川上　裕③　川﨑　三憲⑦　當眞　嗣昭⑧　西端　文雄②<br>畑野　恒和②　平野　譲⑥　藤井　清和②　堀川　昇⑦　宮﨑　吉二⑧<br>村上　昭二⑥　森山伸一郎③　山内　和彦⑦　勇野　耕二③ |
| 第8区 | 貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、和歌山県紀の川市《除く貴志川町、旧那賀町》、和歌山県岩出市 | 14 | 井田　圭一②　出原　達也⑦　岩本　功①　浦川　隆志⑦　金子　健一③<br>坂口修一郎⑦　西浦　孝彰②　西坂　栄一⑥　西田　隆治⑦　野口　眞弘③<br>平松　慶信②　水本　修一④　山口　義幸⑥　大和谷　進⑥ |

※氏名の後の数字は総代の就任回数です。就任回数は、旧南大阪信用金庫との合併後(2004年10月)で計算しています。

■総代の属性別構成比

| | |
|---|---|
| 職業別 | 法人役員96.7%、個人事業主2.0%、個人1.3% |
| 年代別 | 70代以上 49.4%、60代 25.3%、50代 23.3%、40代 2.0% |
| 業種別 | 製造業29.4%、卸売業14.0%、サービス業16.7%、建設業16.7%、不動産業・物品賃貸業11.3%、小売業5.3%、運輸業4.0%、飲食業1.3%、その他1.3% |